

平成18年度当初予算（要求段階）

主 な 事 業 一 覧 表

歳出予算（一般会計）

文書広報費（文書管理・電子決済システム導入委託料）	P1
災害対策事業（一般対策）（地域衛星通信ネットワーク整備経費負担金）	P2
災害対策事業（地域防災力向上対策）	P3
賦課徴収費（滞納管理システム委託料）	P4
賦課徴収費（固定資産税名寄台帳オンライン発行システム委託料）	P5
行政評価システム構築事業	P6
文化推進事業	P7
文化芸術鑑賞支援事業	P8
市民参画推進事業	P9
広報公聴事業（広報せきがねデータ電子化業務委託料）	P10
行政情報システム管理事業	P11
地域省エネルギービジョン策定事業	P12
障害者の実態・ニーズ調査事業	P13
障害区分認定審査事業	P14
地産地消推進事業	P15
肉用牛繁殖空胎防除対策事業	P16
肉用牛生産性向上対策事業	P17
緊急間伐事業	P18
金融対策（経営安定特別資金貸付金）	P19
起業家教育促進事業	P20
観光一般（琴桜観光駐車場整備事業予備設計業務委託料）	P21
観光ビジョン策定事業	P22
単県農業農村整備事業	P23
土木総務（準用河川台帳統合業務委託料）	P24
倉吉駅周辺まちづくり整備事業	P25
交通結節点改善事業	P26
建築指導事業（市所有施設カルテ作成委託料）	P27
建築指導事業（地震ハザードマップ作成委託料）	P28
建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業費補助金）	P29
こまちなみ整備促進事業	P30
公営住宅維持管理事業（住宅用防災警報器設置委託料）	P31
地方道路交付金事業（仮称 倉吉駅北通り線）	P32
辺地対策事業（市道横手立見線）	P33
まちづくり総合交付金事業（モニュメント設置）	P34
臨時河川等整備事業（清谷川枝線改修工事・福光川改修工事）	P35
都市計画総務（都市計画マスタープラン作成業務）	P36
小鴨小学校校舎改築事業	P37
小鴨小学校屋内運動場改築事業	P38
鴨川中学校屋内運動場改築事業	P39
体育施設整備維持管理事業（市営陸上競技場補修工事）	P40
市営野球場整備事業（関金野球場ディフェンスマット設置工事）	P41
指定文化財保存整備事業（鳥飼家保存整備事業）	P42
鳥越山窯跡再整理	P43
景観重要建造物保存活用事業（まちづくり交付金事業）	P44
第7回倉吉：緑の彫刻賞	P45
特別展「土偶の美」	P46
学校給食センター事業（給食料システム導入）	P47
学校給食センター事業（貫流ボイラ更新工事等）	P48

担当課	総務課
-----	-----

事業名	文書広報費（文書管理・電子決済システム導入委託料）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.3	0	39,900	39,900				0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要 文書收受から起案、決裁まで及び文書管理全般を電子化するシステムの導入 18年度システム導入及びコンサルティング（職員研修等） 19年度システム稼働</p> <p>対象 職員・行政文書</p> <p>意図 総合行政ネットワーク（LGWAN）に対応。 電子決裁により決裁時間を短縮し、業務の効率化を図る。 文書管理の電子化により情報公開に迅速かつ的確に対応。 行政文書のペーパーレス化を促進。 電子自治体への基盤整備</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>PCハード及び関連ソフト 行政文書管理ソフト 運用管理コンサルティング 搬入・設置調整・指導費用</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併市町村補助金（10/10）</p>

担当課	総務課
-----	-----

事業名	災害対策事業（地域衛星通信ネットワーク整備経費負担金）
-----	-----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
9・1・5	0	4,667				4,667	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要 災害時における県、市町村、消防等の防災関係機関相互間の通信を確保することを主たる目的として整備されている鳥取県防災行政無線設備が、平成19年12月以降使用できなくなることに伴い、通信回線が多く、データ及び映像の送信が可能な衛星系の防災行政無線設備に更新されるため、当該整備に係る経費の一部を負担する。 対象 鳥取県防災行政無線設備 意図 地上系の防災行政無線設備を衛星系の防災行政無線設備に更新する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>積算根拠 市町村整備経費のうち、起債（旧地域総合整備事業債：交付税措置分）を除いた一般財源分及び起債償還に係る利子相当分について、県：市町村 = 1：3の割合で負担（10年間）する。 ・平成18年度：4,666,177円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>雑入（地域衛星通信ネットワーク整備事業支援交付金） 負担金 × 100% = 4,666,177円 鳥取県市町村振興協会から</p>

担当課	総務課
-----	-----

事業名	災害対策事業（地域防災力向上対策）
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
9.1.5	0	4,240		300		3,100	840

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要 ・防災研修会の開催（年2回：倉吉未来中心） 【1回目（6月頃）：講演・意見交換】 講師を招いて研修会を開催し、自主防災活動の必要性等について研修する。 【2回目（10月頃）：簡易型災害図上訓練】 小学校区単位のグループで簡易型災害図上訓練を開催し、災害時の活動について研修する。 【（通年）防災資機材の購入に対する補助制度】 自主防災組織が防災資機材を購入する場合に、その経費の一部を補助する。 対象 市民（自治公民館及び自主防災組織） 意図 防災研修会及び図上訓練並びに防災資機材の購入に対する補助制度を通して、市民の防災知識の普及啓発を図るとともに、自主防災組織の結成促進及び既存の自主防災組織の育成強化を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>研修会の開催費用 講師派遣に係る費用：90千円 会場費用：80千円 訓練物品購入費：70千円 防災資機材の購入に対する補助制度 900千円（補助率50%以内） 3,100千円（補助率100%以内：コミュニティ助成事業）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>県交付金（地域防災力向上対策事業）300千円×3カ年 雑入（コミュニティ助成事業）3,100千円</p>

担当課	税務課
-----	-----

事業名	賦課徴収費（滞納管理システム委託料）
-----	--------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.2.2	0	12,515	12,515				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
事業概要：滞納者の一元管理を行うシステムを導入する。 対象：市税等の滞納者 意図：滞納者の滞納状況、生活実態等を把握し、迅速な滞納整理を行うことにより、市税の増収を図る。
歳出積算根拠（金額）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	税務課
-----	-----

事業名	賦課徴収費（固定資産税名寄台帳オンライン発行システム委託料）
-----	--------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.2.2	0	1,029	1,029				0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業概要：固定資産税名寄帳を台帳コピーからオンラインシステムで発行する。 対象：固定資産所有者 意図：合併に伴い名寄台帳の管理も増大したため、システム導入により迅速な対応を行い、市民サービスの向上を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併市町村補助金（10/10）</p>

担当課	企画課
-----	-----

事業名	行政評価システム構築事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	16,038	16,038	0	0	0	0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
事業の概要： 基本事業の実績把握と目標設定、事務事業評価（一部）、評価単位と予算事業との関連付け、施策コストの明確化など（別添資料参照） 対象： 基本計画に掲げた施策及び重点課題 市の業務である事務事業 意図： 重点課題のストーリー展開に基づき施策の目標が達成されている 施策目的や経営方針に合致した事務事業として組み立てられ、効果的・効率的な予算配分や執行がなされる
歳出積算根拠（金額）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	市民参画課
-----	-------

事業名	文化推進事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	425					425

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
概要：倉吉市文化振興ビジョンの策定 文化活動団体・活動者等アンケート調査 対象：市民 意図：文化芸術振興の目標や基本方針等を明らかにする
歳出積算根拠（金額）
策定委員報酬 270千円 費用弁償 35千円 事務消耗品 9千円 印刷製本費 75千円 通信費 36千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	市民参画課
-----	-------

事業名	文化芸術鑑賞支援事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	500	254					254

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
概要：文化活動団体が主催する舞台芸術発表・鑑賞事業の市施設会場費の一部補助 対象：市民 意図：舞台芸術発表・鑑賞機会の提供
歳出積算根拠（金額）
市施設使用料 254千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	市民参画課
-----	-------

事業名	市民参画推進事業
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	1,050		349			701

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
--

<p>1. 事業の概要 平成17年度に倉吉市市民参画条例を制定し、条例の市民啓発を図るとともに、条例の規定に基づき、倉吉市市民参画審議会を設置し、市民活動に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、市民活動促進基本計画を策定するほか、市民参画の推進を図る。</p> <p>2. 各事業の説明</p> <p>(1) 市民参画審議会の設置 【活動】倉吉市市民参画審議会を設置し、市民活動促進基本計画を策定する。 【対象】市民 【意図】計画をつくることにより、市民参画・協働の具体的推進方法等について合意形成を図る。</p> <p>(2) 市民参画条例の啓発 【活動】市民参画条例の説明パンフレットを作成し、全世帯に配布するとともに、出前説明会を開催する。 【対象】市民 【意図】条例を理解していただく。</p> <p>(3) 市民参画フォーラム 【活動】市民参画に関するフォーラムを開催する。 【対象】地域リーダー・NPO関係者・職員（150名） 【意図】市民参画の意義・必要性を理解していただく。</p> <p>(4) 協働コーディネーター研修会 【活動】協働コーディネーター（ファシリテーター）に関する研修会を開催する。 【対象】地域リーダー・NPO関係者・職員（60名） 【意図】参加型の会議やワークショップにおけるファシリテーターを養成する。</p>
--

歳出積算根拠（金額） (1) 市民参画審議会の設置（351千円） 市民参画審議会委員報酬 351千円 (2) 市民参画条例の啓発（323千円） パンフレットの印刷（20,500部） 323千円 (3) 市民参画フォーラム（193千円） 講師謝金 149千円 講師旅費 30千円 消耗品 10千円 会場借上料 4千円 (4) 協働コーディネーター研修会（183千円） 講師謝金 148千円 講師旅費 30千円 会場借上料 5千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

鳥取県市町村合併支援交付金（349千円） 市民参画条例パンフレット 699千円×1/2=349千円

担当課	秘書広報課
-----	-------

事業名	広報公聴事業（広報せきがねデータ電子化業務委託料）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.3	0	3,243		1,509			1,734

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>				
<p>旧関金町で発行された、広報せきがね（4,474頁）を、PDFファイルとして保存し、検索機能をつけて、CD-ROM版を作成する。 作成したCD-ROMを、1,000枚複製し、希望者に販売する。</p> <p>業務委託し作成したCD-ROMとは別に、必要があれば自ら複写し販売する。</p>				
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td> 広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚) </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 2,600,000円 419,500円 </td> </tr> <tr> <td> CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚) </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 102,900円 84,000円 36,750円 </td> </tr> </table>	広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚)	2,600,000円 419,500円	CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚)	102,900円 84,000円 36,750円
広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚)	2,600,000円 419,500円			
CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚)	102,900円 84,000円 36,750円			
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>				
<p>鳥取県市町村合併支援交付金（地域の歴史資料保存のための事業） 補助対象経費：広報せきがねデータ電子化業務委託料 3,019,500円 補助率 1/2</p>				

担当課	情報政策課
-----	-------

事業名	倉吉市行政情報システム管理事業
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	23,472	28,476		2,458			26,018

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>鳥教ネット接続： 【概要】旧倉吉市内の小中学校の教職員が鳥教の教職員旅費・グループウェアシステムを利用するためのネットワーク環境を整備する 【対象】教職員 【意図】教職員の事務効率の向上と県内学校との均衡を保つ</p> <p>広瀬分校インターネット接続： 【概要】県内唯一インターネット接続環境の無い学校であり、今後も継続し在校生があるため情報格差の解消と市内小学校との均衡を保つ 【対象】生徒及び教職員 【意図】生徒のITスキルの向上と情報通信格差是正</p> <p>保育園ネットワーク接続 【概要】旧倉吉市はネットワーク接続環境が無いため、インターネット接続を行い園・保護者・役所間の連携強化と各種事務の効率化を図る 【対象】職員 【意図】園役所間、園間の連絡が容易になり園日より等各種事務の効率化を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>鳥教ネット接続 【初期費用】16校：122,655円 【経常経費】 月額 16校：15,779円</p> <p>広瀬分校インターネット接続 【初期費用】27,300円【経常経費】月額4,095円</p> <p>保育園ネットワーク接続 【初期費用】45,150円×10園＝451,500円【経常経費】月額4,095円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	環境課
-----	-----

事業名	地域省エネルギービジョン策定事業
-----	------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
	0	9,933				9,813	120

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
事業の概要 地球温暖化を防止するための今後の省エネルギー政策の方向性を示すため、省エネルギービジョンを策定する。 対象 地球環境 意図 温暖化を防止する。		
歳出積算根拠（金額）		
報酬	委員報酬	450千円
旅費	費用弁償	197千円
	普通旅費	146千円
需用費	印刷製本費	2,100千円
役務費	通信運搬費	30千円
委託料		6,510千円
使用料及び賃借料	自動車借上料	500千円
	計	9,933千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
NEDO補助金(100/100)、ただし説明会への出席旅費は補助対象外		

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	障害者の実態ニーズ調査事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.1	0	1,189					1,189

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉計画の作成が必須となっている。 サービスの必要量を見込むため、障害のある人にアンケート調査を行う経費および計画を策定するための経費を計上するもの。 （アンケート調査は、県と合同で実施し、集計は県で行う。）</p> <p>（対象）身体障害者、知的障害者、精神障害者</p> <p>（意図）ニーズ調査を実施しサービスの必要量等を見込むとともに必要な施策の検討を行う。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>策定委員謝金 2,700円×20人×5回 = 270,000円 印刷製本費 300円×300冊×1.05 = 94,500円 通信運搬費 380円×1,000人 = 380,000円 障害者実態調査結果入力 180円×1000人 = 180,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	障害区分認定審査事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.1	0	5,490					5,490

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）障害者自立支援法の施行に伴い、障害のある人が福祉サービスを利用する際に必要な障害区分認定のための調査、認定審査会等に要する経費を計上するもの。</p> <p>調査員 1 名 認定審査会は鳥取中部ふるさと広域連合に設置する。中部圏域の市町の審査・判定を行う。</p> <p>（対象）身体障害者、知的障害者、精神障害者</p> <p>（意図）事業を円滑、効率的に実施する</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>報酬 142,300円 × 1人 × 12月 = 1,707,600円 医師の意見書作成手数料 = 1,000,000円 認定審査会負担金 = 2,558,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p></p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	地産地消推進事業
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.3	207	1,134	340				794

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
1. 学童農業体験・交流事業 植え付け、収穫等の農作業を旧関金町の小学生と市街地の小学生とが一緒になって農作業を体験する。 2. 地域交流促進事業 料理講習会、農業体験等を通じて旧関金町の伝統食の継承をしながら、新たな倉吉の食文化の創造を図る。 3. 地産地消推進店設置 「地産地消推進の店」を認定し、地元食材の消費拡大を図る。 4. 地域伝統食継承事業 原材料調達、伝統食レシピの保存について支援する。 5. 直売所拡充事業 直売所の増設、拡充に寄与するため、直売所に対して支援をする。	
歳出積算根拠（金額）	
地域交流促進事業 補助金 210千円 地域伝統食継承事業 補助金 525千円	
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫支出金（合併市町村補助金）	340千円

担当課	農林課
-----	-----

事業名	肉用牛繁殖空胎防除対策事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.6	0	167					167

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>倉吉市内の肉用牛繁殖頭数は約500頭、子牛生産頭数は年間約350頭と年々減少傾向にある。肉用牛繁殖農家は、毎年確実に子牛を出産させること（1年1産）が経営上、最も重要なポイントであり、分娩間隔が延びればその損失も増えることになる。 こうした背景の中、人工授精後に発情が無く「妊娠した」と思い込んでいたが、空胎だったという例も多く、特に生産者が高齢の小規模農家では空胎発覚の遅れによる損失で経営が圧迫されることも少なくない。 そこで妊娠鑑定の必要性を啓発する補助事業に取り組むことで種付け後の確実な「妊娠鑑定」を習慣化し日常の飼養管理の徹底を図るとともに、妊娠の有無が明確になることにより不受胎牛への適切な処置等で、子牛生産率の向上が期待できる。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>妊娠鑑定料 2,000円 × 250頭 = 500,000円 負担割合 市1/3、事業主体（JA）1/3、農家1/3 市補助金 500,000円 × 1/3 166,667円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p> </p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	肉用牛生産性向上対策事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.6	0	115					115

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>平成17年3月に示された「鳥取県和子牛育成技術マニュアル」の中で、生後5ヶ月での寄生虫駆虫が衛生的に重要なポイントとされている。寄生虫は「線虫」などの内部寄生虫と「ダニ」や「シラミ」などの外部寄生虫があり、牛に寄生すれば子牛で、増体の減少、毛艶の悪化、下痢や呼吸器病、等を、成牛で飼養効率の低下、繁殖障害、等を起こし、結果、子牛の売価低下や成牛の生産性の低下を招く。 現在、JA中央和牛生産部では繁殖牛及び生産される子牛に駆虫薬を投与し、せり市場での有利販売に向けて努力している。そこで、本事業で駆虫の実施の徹底を図り、生産農家の負担軽減と経営の安定化を目指す。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>○薬品名 イベルメクチン（単価 10,000円/L） ○使用規定量 体重100kgあたり10cc（=100円） 子牛200kg = 20cc(200円)、母牛550kg = 55cc(550円) ○母牛500頭、子牛350頭の駆虫を目標 500頭 × 550円 + 350頭 × 200円 = 345,000円 ○負担割合 市1/3、事業主体（JA）1/3、農家1/3</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	緊急間伐事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.2.2	0	850					850

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
森林整備事業の柱である間伐について、特に間伐の遅れている高齢級森林（8・9齢級）の間伐促進のため国・県補助事業として、H17年～H19年の3カ年事業として設立された「緊急間伐促進事業」に対する市費上乗せ事業。市費補助率については、国・県・市補助率合計80%となるよう、8%とする。（国・県合わせて72%）
歳出積算根拠（金額）
間伐実施予定地区：関金町西大河原 間伐実施予定面積：20ha 単価：531,000円/ ha（国県補助事業標準単価採用） 事業費：10,620,000円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	金融対策（経営安定特別資金貸付金）
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.2	0	100,000				100,000	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>現行の制度融資及び金融機関プロパー融資を利用できない、事故経験のある中小企業者に対し、今後の経営安定を図るための資金調達を支援する制度。 過去に事故を起こした事業主、関連企業の経営不振により破綻した事業主又はそれらの者の保証人となっていた事業主で、新規事業に取り組んで3年以上経過し、過去の債務を清算し、経営内容が正常で事業の継続が見込まれる者を対象とする。 金融機関に対し融資金額の一部を預託し、末端金利の低減を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>1件当たり融資限度額10,000千円 $10,000千円 \times 20件 \times 協調割合1/2 = 100,000千円$</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>諸収入（貸付金元利収入）100,000千円 金融機関より年度末一括償還</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	起業家教育促進事業
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.2	0	303					303

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
本市の活性化、雇用の創出等に資するため「起業家マインド」あふれる若者を多数輩出する必要があり、そのための良質なプログラムを学校授業の中に提供していく。 体験参加型のゲームを取り入れた授業を、平成17年度に市内3校8クラスで実施した（経済産業省直轄）が、今後、起業家教育の普及・自立・定着のために、プログラムリーダーを養成することが必要となる。 教諭を中心に「教員養成モデル」を受講し、次年度以降、全学校への常駐を目指す。	
歳出積算根拠（金額）	
研修旅費	213,000円
消耗品費	50,000円
会場借上料	40,000円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
（空白）	

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	観光一般（琴桜観光駐車場整備事業予備設計業務委託料）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	0	600					600

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）琴桜観光駐車場の向かいに観光バス駐車場として土地1,200㎡を購入し駐車スペース（既存バス駐車場3台＋新規バス5台分追加）、バス待合所、トイレ等を整備する。 平成18年度 地権者交渉、予備設計作成、まちづくり交付金事業調整、警察・鳥取県等関係機関の調整 平成19年度 本設計、用地購入、工事整備、供用開始</p> <p>（対象）白壁土蔵群・赤瓦周辺を訪れる観光バス</p> <p>（意図）観光駐車場として利用してもらうことにより、恒常化しているバスの路上駐車を防止し、安全に駐車してもらう。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>委託料 予備設計業務 600千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	観光ビジョン策定事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	0	2,000		1,000			1,000

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
（概要）基幹産業としての観光振興の方策（地域の特性・課題、計画コンセプト、全体計画）及び具体のアクションプランを策定し、戦略的に観光施策を実施する。 平成18年度 計画策定に向けた調査研究（視察等含む）、共通目標設定、民間との役割分担、観光ビジョン検討委員会（仮称）の実施と検討会開催、計画策定、講師招聘 平成19年度 検討委員会による計画の検証、計画の見直し、調査研究作業、講師招聘による検証・見直し指導 （対象）民間事業者、観光関係団体、地域住民 （意図）共通の指針・目標を持ち、来訪者をもてなす受け皿を創る。		
歳出積算根拠（金額）		
報償費 旅費 需用費 役務費 使用料	講師謝金 費用弁償 普通旅費 消耗品費 通信運搬費 自動車借上料	500千円 1,045千円 324千円 23千円 48千円 60千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
鳥取県市町村合併支援交付金(1/2) 1,000千円を予定		

担当課	農村整備課
-----	-------

事業名	単県農業農村整備事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.7	0	25,000		12,500	6,300	4,000	2,200

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
土地改良事業はほぼ完了し、農村生産基盤は整備されたところだが、農地、農業用施設が老朽化し、農耕に支障を起こしている。県の補助の対象となる単県農業農村整備事業で修繕、改良しこれに対処する。 古川沢地区 農道舗装の改修 L. = 255m W. = 3.5 m 三江開田地区 暗渠排水 A. = 1.0 h a 栗尾地区 暗渠排水 A. = 0.4 h a 広瀬地区 暗渠排水 A. = 0.3 h a 北野地区 農業用排水路 L. = 106m 福積地区 暗渠排水 A. = 1.7 h a 不入岡地区 農業用排水路 L. = 250m 暗渠排水 A. = 1.5 h a 関金ふるさと農道改良工事 L. = 40m W. = 10.0 m	
歳出積算根拠（金額）	
農道整備事業 古川沢12号農道地区 関金ふるさと農道 8,200,000円 農用地の改良及び保全事業 古川沢地区 栗尾地区 広瀬地区 北野地区 福積地区 不入岡地区 16,800,000円 合計 25,000,000円	
歳出積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率	
県補助金(50%) 地元負担金(20%) 起債額(75%)	25,000,000 × 1/2 = 12,500,000円 20,000,000 × 2/10 = 4,000,000円 6,300,000円

担当課	管理課
-----	-----

事業名	土木総務（準用河川台帳統合業務委託料）
-----	---------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.1	0	5,000	5,000				0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>準用河川は市町村が指定、管理する河川であり河川台帳を整備することが必要とされています。については市町村合併に伴い、新市において管理することとなる準用河川台帳（倉吉6河川、関金3河川の計9河川）の統合を行うものです。 現在旧倉吉、旧関金で整備していた台帳を見直しするとともに統合整理、マイラー化し、河川維持管理、占用管理、施設の内容等を明確にしていくものです。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>準用河川台帳作成委託業務 5,000千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併市町村補助金（10/10）</p>

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	倉吉駅周辺まちづくり整備事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		財 源 内 訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	78	66,355					66,355

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
<p>県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を行うため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成16年度にはその構想により、「駅周辺交通バリアフリー基本構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。</p> <p>交通結節点の重要拠点であるJR倉吉駅において、円滑な乗り継ぎや乗り換えを確保するため自由通路や駅の橋上化を一体となった施設として整備を行うものです。</p>		
歳出積算根拠(金額)		
委託費	倉吉駅橋上化詳細設計等	66,160千円
事務費		195千円
計		66,355千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
（空欄）		

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	交通結節点改善事業
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		財 源 内 訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	0	70,000	35,000				35,000

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を行うため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成16年度にはその構想により、「駅周辺交通バリアフリー基本構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。 交通結節点の重要拠点であるJR倉吉駅において、円滑な乗り継ぎや乗り換えを確保するため自由通路や駅の橋上化及び駅前広場の整備を行うものです。	
歳出積算根拠(金額)	
委託費	自由通路詳細設計 36,400千円
用地費	JR用地買収 29,250千円
事務費	4,350千円
計	70,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫補助金（交通結節点改善事業費補助金） 70,000千円 × 50% = 35,000千円	

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（市所有施設カルテ作成委託料）
-----	-----------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	10,790	0	0	0	0	10,790

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>建築基準法第12条の改正に伴い、一定の建築物につき、損傷腐食その他劣化状況を定期的な点検の義務づけ。</p> <p><対象施設> 特殊建築物でその用途に供する床面積が100㎡を超えるもの 事務所等のうち、5階以上で延べ面積が1,000㎡を超えるもの</p> <p><対象および期間> 建築全体（3年以内）・昇降機（1年以内）・建築設備（1年以内）</p> <p><点検者> 1級建築士・2級建築士及び資格者</p> <p>>>> 対象施設の設計図等の関連図書を新たに整備する必要</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>市所有施設カルテ作成委託料 10,790千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（地震ハザードマップ作成委託料）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	9,135	4,567	0	0	0	4,568

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
今後、住宅・建築物耐震改修等事業を行う地方公共団体は、住宅建築物耐震改修促進計画を定める必要があり、地震ハザードマップ作成は補助事業の前提条件となる。
歳出積算根拠（金額） 地震ハザードマップ作成委託料 9,135千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
国庫補助金（地震ハザードマップ作成費補助金） $9,135千円 \times 1/2 = 4,567千円$

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業費補助金）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	800	400	200			200

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
<目的> 地震に強い安全なまちづくりをめざし、耐震診断要する経費の助成 <対象> 昭和56年以前に建設された1戸建て住宅
歳出積算根拠（金額） 1件 60,000円 20件 国：1/3 県：1/6 市：1/6 建築主：1/3 $60千円 \times 20件 \times (1/3 + 1/6 + 1/6) = 800千円$
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
国庫補助金（地震に強い家づくり支援事業費補助金） $60千円 \times 20件 \times 1/3 = 400千円$ 県補助金（地震に強い家づくり支援事業費補助金） $60千円 \times 20件 \times 1/6 = 200千円$

担当課	建築課
-----	-----

事業名	こまちなみ整備促進事業
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.1	0	1,000		500			500

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要） 国庫補助事業の対象とならない比較的小規模地区を対象とした外壁の改修・塀の設置などの修景施設整備に対する助成制度 （事業主体） 市町村 （面積要件） 1ヘクタール未満 （対象事業） 外壁修景・塀及び植栽整備・空調設備等隠蔽</p> <p>（H18実施） 事業計画策定補助 県1/2（上限500千円）・市町村1/2</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>こまちなみ整備促進モデル事業計画策定委託料 1,000千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>県補助金（こまちなみ整備促進モデル事業費補助金） 1,000千円×1/2=500千円（上限500千円）</p>

担当課	建築課
-----	-----

事業名	住宅用防災警報器設置委託料
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.5.1	0	19,928					19,928

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要） 住宅防火に関する消防法令の改正にともなう住宅用防災警報器設置 （設置箇所） 基本的に就寝用に供する居室及び階段 < 公営住宅 > 500戸 1,416機 < 改良住宅 > 24戸 96機 < 特定公共賃貸住宅 > 12戸 30機 < 市単独住宅（余戸谷町住宅） > 11戸 22機
歳出積算根拠（金額） 単価 12,740円 公営住宅 12,740円 × 1,416機 = 18,040千円 改良住宅 12,740円 × 96機 = 1,224千円 特定公共賃貸住宅 12,740円 × 30機 = 383千円 市単独住宅 12,740円 × 22機 = 281千円 合計 19,928千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	建設課
-----	-----

事業名	地方道路交付金事業（仮称 倉吉駅北通り線）
-----	-----------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	135,000			55,300		79,700

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>												
<p>（概要）本事業は、平成13年度に倉吉駅周辺まちづくり構想で整備が計画され、上井羽合線沿道土地区画整理事業は平成13年度に事業認可、平成22年度に整備完了予定である。また、都市計画道路上井羽合線は平成19年度整備完了予定である。この（仮称）倉吉駅北通り線を整備することにより、区画街路及び都市計画道路と鳥取短期大学からの道路とのネットワーク化を図る。 （対象）JR山陰本線北側に居住する人で倉吉駅を利用する人及び倉吉駅の北側近隣地区居住者 （意図）倉吉駅までの到着時間の短縮を図る。駅北側地区からの倉吉駅の利用者数の増大を図る。倉吉駅北側近隣地区での交通事故発生件数の減少を図る。</p>												
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td>測量設計委託料</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>25,000千円</td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>85,000千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>14,000千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135,000千円</td> </tr> </table>	測量設計委託料	5,000千円	公有財産購入費	25,000千円	補償金	85,000千円	工事請負費	14,000千円	事務費	6,000千円	計	135,000千円
測量設計委託料	5,000千円											
公有財産購入費	25,000千円											
補償金	85,000千円											
工事請負費	14,000千円											
事務費	6,000千円											
計	135,000千円											
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>												
<p>国庫補助金（地方道路整備臨時交付金（一般財源）） $135,000千円 \times 5.5/10 = 74,200千円$ 市債（臨時地方道整備事業債） $(14,000千円 + 5,000千円) \times 1.0275 + 25,000千円 + 85,000千円 \times 0.45 \times 0.95 = 55,300千円$</p>												

担当課	建設課
-----	-----

事業名	辺地対策事業（市道横手立見線）
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	40,000			40,000		0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要）当該路線は、昭和62年度に辺地対策事業で道路整備を実施したが、計画区間は用地提供に関して問題があり道路整備が未実施であった。しかし、現在までの間この区間での落石等が数回報告された。市では、このことを踏まえ市道と平行して走る立見川の管理者である鳥取県及び地元公民館、土地地権者と協議を行ってきた。しかし、立見地区住民の安全な通行の確保を図るため、これ以上整備を遅らせることが出来ないと判断し、計画区間の道路整備を実施する。 （対象）立見地区住民及び関係者 （意図）立見地区及び関係住民の安全な通行の確保を図る。	
歳出積算根拠（金額）	
測量設計委託料 公有財産購入費 補償金 工事請負費 事務費 計	8,000千円 3,000千円 1,000千円 26,200千円 1,800千円 40,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
市債（辺地対策事業債（起債充当率100%）） 40,000千円	

担当課	建設課
-----	-----

事業名	まちづくり総合交付金事業（モニュメント設置）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	5,000	1,990		2,200		810

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>								
<p>（概要）打吹地区に位置し本市のシンボルである打吹公園が平成16年に開園100周年を迎えると共に、本地区の中心を走る伊能忠敬が測量した街道「八橋往来」が「夢街道モデル地区」に認定されたことを契機に、来訪者との交流の場を創出するため、本地区の歴史的文化資源や打吹公園を“まちづくり”に活用する、回遊性のある“歩行ネットワーク計画”を策定。本計画をもとに平成15～16年度において『まちづくり総合支援事業』（平成17年度からは「まちづくり総合交付金事業」に移行）で整備を実施した。本計画は、来訪者に打吹地区をアピールし来訪者を誘導する目印とし、打吹地区の東エントランスにモニュメントを設置する。 （対象）来訪者 （意図）来訪者を打吹地区に引き寄せる</p>								
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td>測量設計委託料</td> <td>500千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>4,200千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,000千円</td> </tr> </table>	測量設計委託料	500千円	工事請負費	4,200千円	事務費	300千円	計	5,000千円
測量設計委託料	500千円							
工事請負費	4,200千円							
事務費	300千円							
計	5,000千円							
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>								
<p>国庫補助金（まちづくり交付金） $5,000千円 \times 39.8\% = 1,990千円$ 市債（まちづくり交付金事業債） $(5,000 - 1,990) \times 75\% = 2,200千円$</p>								

担当課	建設課
-----	-----

事業名	臨時河川等整備事業（清谷川枝線改修工事・福光川改修工事）
-----	------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.3.1	0	39,500			37,400		2,100

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
清谷川の整備については、自然災害防止対策事業として取り組み、本線の整備は平成15年度に完了したが、接続する導水路部分が未整備であり排水対策に十分な効果を発揮していない状況にあるため、早急な整備が必要である。福光川は、準用河川であり、下流は不入岡用水路へ接続する基幹河川である。久米ヶ原台地の排水と久米水田の排水を処理するが、老朽化が著しく隣接する管理道及び畦畔の陥没が生じ河床が土砂で埋まり高くなり排水断面の確保が出来なくなっており早急な整備が必要である。	
歳出積算根拠（金額）	
事務費 測量設計委託料 工事請負費 公有財産購入費 計	500 14,000 20,000 5,000 39,500
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
市債（臨時河川等整備事業債） 清谷川枝線改修 27,300千円 × 95% = 25,900千円 福光川改修 12,200千円 × 95% = 11,500千円 計 37,400千円	

担当課	建設課
-----	-----

事業名	都市計画総務（都市計画マスタープラン作成業務）
-----	-------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.1	0	21,000	21,000				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
<概要> 2市町が合併して出来た倉吉市では、旧市町で都市計画行政の取り組みに差違が存在するなか、新市施行後の都市の将来像を共有し、総合的かつ効果的な都市計画行政を進めるため都市計画マスタープランを作成する。 <対象> 市民 ・都市計画区域 <意図> ・倉吉市の総合的なまちづくりの方針を、10次総と整合させた「全体構想」、地域別のきめ細やかなまちづくり「地域別構想」を定め、整備方策等の検討し素案を作成する。 1.全市的まちづくりのイメージを策定し、市民によるまちづくりの共有を図る。 2.市内における都市計画区域の指定のあり方について、方向性を整備する。 3.現行の都市計画の抱える課題について整理し、課題解決に向けた方向性を整理する。 4.計画策定において市民参加を行い、市民と行政の協働によるまちづくり体制の構築を図る。
歳出積算根拠（金額）
倉吉市都市計画マスタープラン作成業務委託料 21,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	小鴨小学校校舎改築事業
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.3	588,121	773,522	148,349		383,600		241,573

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要）小鴨小学校の校舎は、昭和41年から43年にかけて建築されその後、昭和57年に児童数の増加により特別教室棟を増築し、現在に至っている施設であるが、普通教室棟の一部と管理教室棟が危険建物となっていることから全面改築を計画し、取り組んでいる校舎改築事業の継続分である。今年度は、校舎改築工事の継続、既存校舎の解体、備品の整備を予定している。 校舎を改築することにより、良好な教育環境を創り、児童が安全安心な学校生活を送ることができる。	
歳出積算根拠（金額）	
校舎改築工事(継続)	18年度分 633,276千円
現校舎解体工事	78,540千円
改築工事監理委託料	11,340千円
校舎解体工事設計監理委託料	1,091千円
備品整備及び事務費	49,275千円
計	773,522千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫支出金	校舎増築部分(470㎡)負担率 1/2 18年度実施分60% 20,863千円
	危険改築部分(2,446㎡)負担率 1/3 18年度実施分60% 72,384千円
	不適格改築部分(1,862㎡)補助率 1/3 18年度実施分60% 55,102千円
	計 148,349千円
地方債(合併特例債)	充当率95% 383,600千円

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	小鴨小学校屋内運動場改築事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.3	0	14,497					14,497

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>						
<p>（概要） 小鴨小学校の屋内運動場は、昭和44年に建設されたものであるが、普通教室棟と同様に危険建物となっていることから現在のグラウンドに改築を計画するものである。校舎改築の後、19年度の単年度事業として速やかに改築に取り組めるよう実施設計を行うものである。 屋内運動場を改築することにより、良好な教育環境を創り、児童が安全安心な学校生活を送ることができる。また、地域のスポーツ活動の場として充実した施設を提供することができる。</p>						
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">実施設計委託料</td> <td style="text-align: right;">14,257千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">240千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">14,497千円</td> </tr> </table>	実施設計委託料	14,257千円	事務費	240千円	計	14,497千円
実施設計委託料	14,257千円					
事務費	240千円					
計	14,497千円					
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>						

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	鴨川中学校屋内運動場改築事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.3.3	153,583	228,755	43,784		103,200		81,771

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）			
（概要） 鴨川中学校の屋内運動場は、昭和29年に建設され、建物自体が危険建物となっていることから、昨年度からの二カ年の事業として改築を行っているものである。 18年度は、本工事の他に現施設の解体、普通教室棟、管理教室棟と屋内運動場を結ぶ渡り廊下の設置、防球ネットの設置、施設を有効に利用するための備品整備を行うものである。 屋内運動場を改築することにより、良好な教育環境を創り、生徒が安全安心な学校生活を送ることができる。また、地域のスポーツ活動の場として充実した施設を提供することができる。			
歳出積算根拠（金額）			
屋内運動場改築工事(継続)	18年度分	185,157千円	
現屋内運動場解体等付帯工事		36,396千円	
改築工事監理委託料		2,939千円	
付帯工事設計監理委託料		3,283千円	
備品整備及び事務費		980千円	
計		228,755千円	
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など			
国庫支出金	増築部分(326㎡)負担率 1/2	18年度実施分60%	14,283千円
	危険改築部分(812㎡)負担率 1/3	18年度実施分60%	23,717千円
	地域連携施設部分(200㎡)補助率 1/3	18年度実施分60%	5,784千円
	計		43,784千円
地方債(合併特例債)	充当率95%		103,200千円

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	体育施設整備維持管理事業（市営陸上競技場補修工事）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	0	33,810					33,810

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要）平成19年5月の第3種公認検定に合格するため、やり投げ助走路及び高跳のフィールドを改修する。 （対象）県民・市民 （意図）生涯スポーツの振興と地域の活性化に寄与する。
歳出積算根拠（金額）
工事請負費 市営陸上競技場補修工事 33,810千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	市営野球場整備事業（関金野球場ディフェンスマット設置工事）
-----	-------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	0	13,965					13,965

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）関金野球場のフェンスにディフェンスマットを設置する。 （対象）市民 （意図）関金野球場の内野が狭く、コンクリートのフェンスにぶつかり怪我を負うことがあるため、安全施設整備を行う。（市営野球場は設置済）</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>工事請負費 関金野球場ディフェンスマット設置工事 13,965千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p> </p>

担当課	文化財課
-----	------

事業名	指定文化財保存整備事業（鳥飼家保存整備事業）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.3	0	3,720		1,240			2,480

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
県指定保護文化財鳥飼住宅は、平成4年度に屋根葺き替え等の移築工事を完了してから約15年が経過した。屋根材である茅の保護のため定期的に燻蒸を実施しているが、風雨の影響をまともに受ける南側茅葺屋根部分の損傷が著しく、茅押えの部材が露出している状況である。 部分的に茅を補充する修繕だけでは限界があり、このまま放置しておくとも将来、大規模な全面修理をしなければならなくなるので、損傷の激しい屋根南側の茅葺き替え工事を実施したい。	
歳出積算根拠（金額）	
工事請負費 設計監理費 需用費	3,381千円 338千円 1千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
県補助金（指定文化財保存整備費補助金） 3,720千円 × 1/3 = 1,240千円	

担当課	文化財課
-----	------

事業名	鳥越山窯跡再整理
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.3	0	2,000	1,000	333			667

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>昭和62年に関金町総合運動公園建設（関金宿）に伴い、関金町教育委員会が事前に発掘調査を実施し、古墳時代から奈良時代の須恵器窯跡を確認した。発掘調査によって約80コンテナにのぼる須恵器が出土したが、報告書が未刊行のままであり、遺物も整理がされていない状態で保管されている。県中部で唯一の窯跡資料であり、当地方の古墳時代～奈良時代の須恵器の変遷を明らかにするとともに、県中部の標準資料として活用できるように再整理を行う。 根本的に遺物整理を行い、遺物を活用できる状態にすること、資料として活用に耐えうる報告書を刊行することを目標とする。そのため、18年度には遺物洗浄・復元・実測を実施し、19年度に報告書刊行の2カ年の事業を計画する。</p>
<p>歳出積算根拠</p> <p>共済費 10千円 労働災害保険料 賃金 1,938千円 内務作業員285人 （内訳） 洗浄80人、マーキング160人、接合45人 需用費 52千円 遺物整理用品等</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>国補助金（埋蔵文化財発掘調査費補助金） 2,000千円 × 1/2 = 1,000千円</p> <p>県補助金（埋蔵文化財発掘調査費補助金） 2,000千円 × 1/2 × 1/3 333千円</p>

担当課	文化財課
-----	------

事業名	景観重要建造物保存活用事業（まちづくり交付金事業）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.3	0	45,000	17,910		20,300		6,790

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
概要 旧牧田家の建物は、倉吉で確認されている最も古い建物であり、山陰地方の商家の変遷を知るうえでも貴重なもの。また「淀屋」を屋号とし、倉吉を代表する商家であり、大阪の岡本淀屋の跡地で商業活動を展開していた「淀屋清兵衛」ゆかりの家である。このような歴史と建築様式を残す旧牧田家建物は、地域のまちづくりの拠点として活用しながら、伝統文化の保存活動を進めていく上で欠くことのできない資産であり、活動の拠点として公開活用できる最低限の保存整備を行なう。 平成18年度は、保存整備に向けて建物が所在する主屋と付属屋の土地の購入、並びに付属屋建物の購入を行なう。	
歳出積算根拠（金額）	
土地購入費 建物購入費 事務費 計	34,250千円 8,000千円 2,750千円 45,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫補助金（まちづくり交付金） $45,000千円 \times 39.8\% = 17,910千円$ 市債（まちづくり交付金事業債） $(45,000千円 - 17,910千円) \times 75\% = 20,300千円$	

担当課	博物館
-----	-----

事業名	第7回倉吉：緑の彫刻賞
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.6	0	15,152					15,152

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
トリエンナーレ美術賞（前田寛治大賞、菅楯彦大賞、緑の彫刻賞）の一環であり、地域に関わる文化芸術の振興を基本方針とする。緑の彫刻賞は生活環境の上質で潤いのある修景を目的とし、選考審査委員によって選ばれた日本を代表する彫刻家の作品を公共空間に設置し市街地のグレードアップをはかる。
歳出積算根拠（金額）
報償費 600千円 委託料 2,000千円 備品購入費 10,000千円 等
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	博物館
-----	-----

事業名	特別展 土偶の美
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.6	0	10,935				7,000	3,935

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>日本文化の基層をなす縄文文化に焦点をあて、代表的な土偶や縄文土器をと おして、縄文人の祈りあるいは願いの造形を紹介する。文化庁・日本海テレ ビ・新日本海新聞社と共催し、西日本でははじめての企画を実施し、東西の縄 文文化の違いなどを提示しながら小学生から老人まで楽しめる展示とする。出 品は重要文化財を含む約100点。会期 平成18年10月21日～11月19日</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>旅費 581千円 需用費 2,300千円 役務費 7,320千円 等</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p> <p>入館料 7,000千円 文化庁助成 1,000千円（予定）</p>

担当課	学校給食センター
-----	----------

事業名	学校給食センター事業（給食料システム導入）
-----	-----------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.3	0	3,628		1,813			1,815

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
（概要）学校給食会による学校給食会計を市の公会計に移行する予定のため、給食費の児童・生徒情報、保護者情報、口座情報、納付書作成、収入調定、収納管理、未納督促など給食費システムの導入を行う。これにより公会計への移行の環境を整備する。 （対象）・給食費管理システム （意図）・給食費管理システム導入により、給食費の管理、給食費の未納による給食物資納入業者への支払遅延防止など、公会計移行への環境整備		
歳出積算根拠（金額）		
委託料	給食料システム導入経費	3,628千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
鳥取県市町村合併支援交付金 3,628千円 × 1/2 = 1,813千円		

担当課	学校給食センター
-----	----------

事業名	学校給食センター事業（貫流ボイラ更新工事等）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.3	0	16,951			16,100		851

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要） 関金との合併に伴い、関金給食センターを19年4月から倉吉に統合するため、給食数の増加に加え、経年劣化が進んでいる2基の貫流ボイラー（蒸気ボイラー）を更新整備する。また、統合による約500食分の増加のため、新たに食缶消毒保管庫を1台増設整備する。 （貫流ボイラー整備） 2基の貫流ボイラーを平成18年7月から8月の夏季休業期間中に設置工事を行う。 （食缶消毒保管庫整備） 関金給食センター統合のため、新たに約500人分の食缶消毒保管庫1台を平成18年7月から8月の夏季休業期間中に設置工事を行う。 （対象） 貫流ボイラー（蒸気ボイラー）、食缶消毒保管庫 （意図） 貫流ボイラーの更新設置、食缶消毒保管庫の増設設置	
歳出積算根拠（金額）	
工事費 計	貫流ボイラー 14,763千円 食缶消毒保管庫 2,188千円 16,951千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
合併特例債	16,951千円 × 95% = 16,100千円